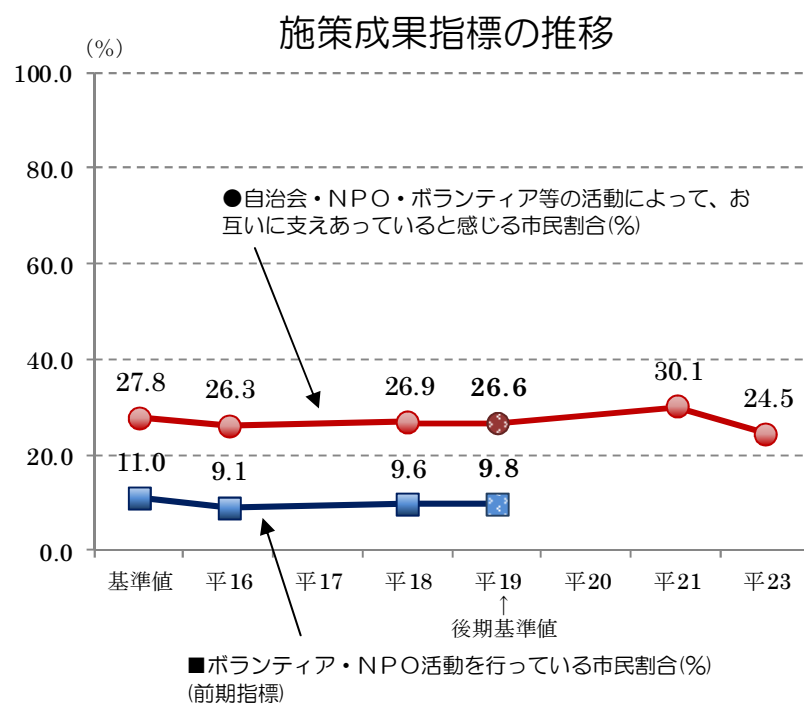


施策06-01 自助・互助・公助のまちづくり

目的	自治会を中心にコミュニティ活動が活発に行われるとともに、市民・自治会・NPO・ボランティア・行政が協働してまちづくりを進めます。			
対象	市民、自治会、NPO、ボランティア、行政			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標値 平25年度	達成状況
自治会・NPO・ボランティア等の活動によって、お互いに支え合っていると感じる市民割合(%)	26.6	24.5	↗	C

第5次総合計画の取組

- ・平成16年2月～19年3月：えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会を開催。
- ・平成18年：自治会に対する地域自治活動支援事業補助金の算定方式を変更（活動実績に基づく補助単価の設定）
- ・平成18年9月：「江別市民活動センター・あい」開設
- ・平成21年：市民活動団体等活動状況調査実施
- ・平成22年4月：市民協働に関する事務が企画政策部より生活環境部へ移管
協働のまちづくり活動支援事業 補助基準の見直し（補助率を1/2から2/3へ変更）
- ・平成23年7月：江別市自治会連絡協議会HPおよび自治会連絡網となるSNSを開設
- ・平成24年4月：協働のまちづくり活動支援事業 補助基準の見直し（自治会との協働による事業実施の場合、補助率9/10を追加）
7月：「市民活動センター・あい」がイオンタウン江別へ移転



目標を達成できる成果指標の分析

コミュニティ活動の支援と連携については、自治会活動に参加する市民を増やすため、今後も自治会SNS等を利用し活動の周知啓発を図るほか、自治会役員対象の研修会を開催するなど、自治会活動活性化に向けた支援を行っていく必要があります。

市民活動団体の支援と相互連携については、平成24年度に協働のまちづくり活動支援事業の充実を図ったことから、概ね後期目標を達成できる予定です。今後も地域の課題に対するワークショップの開催など団体間連携の促進を図り、積極的に支援をしていく必要があります。

目標達成が難しい成果指標の分析

なし。

達成状況 ⇒ A：既に達成、 B：達成確実、 C：達成可能、 D：達成困難、 E：達成不可能

基本事業06-01-01 コミュニティ活動の支援と連携

目的	市民が自治会活動に積極的に参加し、地域住民の協働意識と連帯感を高め、コミュニティ活動を活発にします。								
対象	市民、自治会								
成果指標	自治会活動に参加している市民割合(%)	後期基準値 平19	63.6	現状値 平23	58.2	後期目標 平25	↗	達成状況	C
	自治会の協働テーマの取組数(件)		497		532		550		C

基本事業06-01-02 市民活動団体の支援と相互連携

目的	NPOやボランティアをはじめとした市民活動に関わる人材や団体を支援するとともに、自治会・市民活動団体・行政が相互に連携しながら、市民協働によるまちづくりを行います。								
対象	市民、自治会、NPO、ボランティア、行政								
成果指標	NPOやボランティアをはじめとした、市民活動団体の活動に参加している市民割合(%)	後期基準値 平19	9.8	現状値 平23	10.1	後期目標 平25	↗	達成状況	C
	江別市と市民活動団体等の協働事業数(件)		98		127		110		B
	自治会と市民活動団体等との連携事業数(事業、累計)	前期4年	27		27		後期5年	30	C

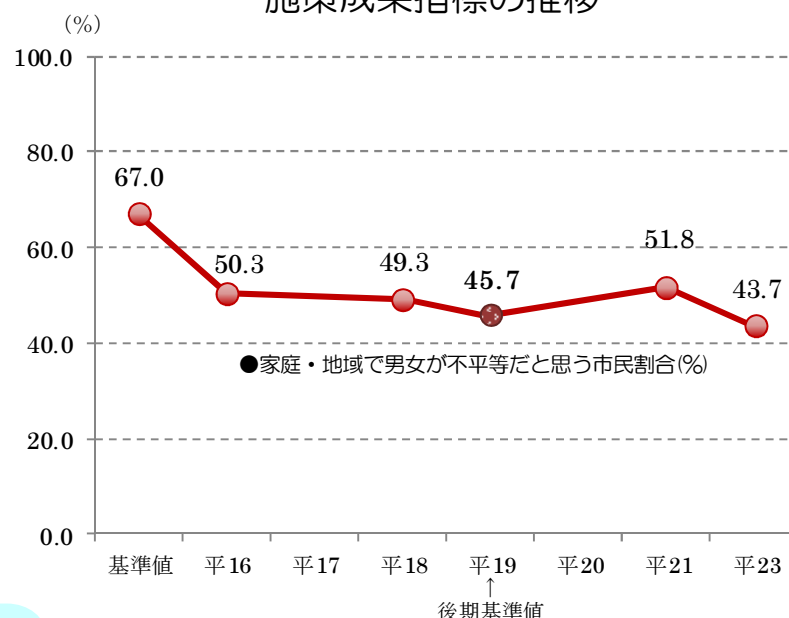
施策06-02 男女共同参画社会の形成

目的	家庭・地域・職場や行政において性別役割分担意識や男女不平等意識の解消を図り、女性の社会進出を促進します。			
対象	家庭、地域、職場、行政			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標値 平25年度	達成状況
家庭・地域で男女が不平等だと思う市民割合(%)	45.7	43.7	↓	C

第5次総合計画の取組

- ・平成21年3月に「江別市男女共同参画を推進するための条例」の制定。
- ・条例の制定に合わせ、平成21年3月に「江別市男女共同参画基本計画」の改訂。
- ・性別による固定的役割分担意識の解消をテーマとした講演会、防災計画に女性の視点を盛り込むことの必要性を考えるセミナー、広報等を通じたDV防止啓発、若年層を対象としたデートDV防止啓発パンフの作成など、多様な角度から事業を展開して男女共同参画意識の醸成を図ってきました。

施策成果指標の推移



目標を達成できる成果指標の分析

市民の男女平等意識のうち家庭生活における意識は、共働き世帯の増加による男性の家事・育児への参加にともない向上していくものと考えられますが、今後も啓発事業による取組が必要です。

職場や地域での女性の社会参画にかかる意識の向上については、個人の意識が変わることだけでなく、地域や企業など社会全体で捉えていくことが必要です。

目標達成が難しい成果指標の分析

女性の審議会等登用割合については、個々の審議会等の設置目的を達成するため、委員の専門性を優先して人選する必要があるため、女性であることを条件とすることができないことから目標を達成することは難しいです。

今後も、委員改選期における審議会所管部署への働きかけや、女性委員登用の状況を定期的に全庁に周知することなどにより、意識改革を促していくことが必要です。

達成状況 ⇒ A: 既に達成、 B: 達成確実、 C: 達成可能、 D: 達成困難、 E: 達成不可能

基本事業06-02-01 男女平等意識の確立

目的	社会的性別(ジェンダー)が性差別、性別による固定的役割分担、偏見等につながることはない様、意識の変革を図るとともに様々な場面で性別による固定的役割分担意識の解消に向けた社会的合意形成を目指します。								
対象	家庭、職場、地域、行政								
成果指標	家庭生活の中で男女平等であると思う市民割合(%)	後期基準値 平19	36.2	現状値 平23	45.4	後期目標 平25	↗	達成状況	B
	職場・職業で男女平等であると思う市民割合(%)	19.8	23.8	↗	B				

基本事業06-02-02 女性の社会参画の推進

目的	女性が働くための環境づくりや行政への女性の参加を促進するとともに、家庭や地域等さまざまな場面において、女性の社会参画を促進します。								
対象	家庭、地域、職場、行政								
成果指標	女性が社会参画していると思う市民割合(%)	後期基準値 平19	51.5	現状値 平23	52.4	後期目標 平25	↗	達成状況	C
	女性の審議会等登用割合(%)	24.3	25.3	40.0	D				

施策06-03 国内・国際交流の推進

目的	友好都市などとの交流により、国内の郷土や歴史の違いの相互理解を進めるとともに、姉妹都市や市内在住の外国人などとの交流により、外国との文化、言葉の違いを理解し、誰もが快適に暮らせる地域を目指します。			
対象	市民、市内居住外国人			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標値 平25年度	達成状況
外国のことを理解し、お互いの歴史や風土を尊重して交流できる市民割合(%)	16.9	16.1	↗	C
土佐市やグレシャム市が友好姉妹都市であると知っている市民割合(%)	(H21) 83.6	73.0	↗	C

第5次総合計画の取組

【外国人とコミュニケーションが取れる人材の育成・推進】

・平成14年4月より、野幌小、文京台小などをモデル校として国際交流員が通年の英語授業(1~6年生を対象に月1回(6時間))を実施したほか、江別国際センターなどでの語学教室や国際交流イベントなどを行っています。

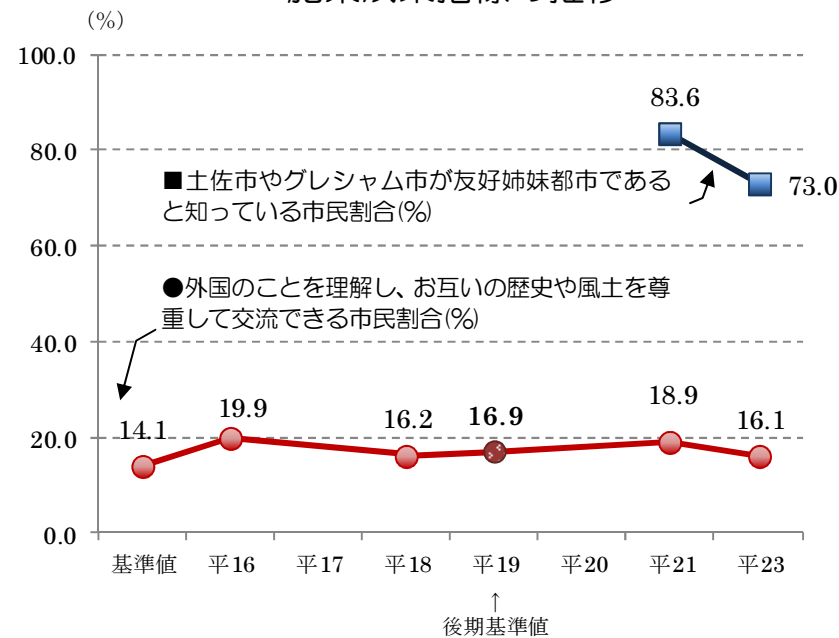
【市内在住外国人への情報提供の充実・サポート活動】

・平成11年より継続して、各種の行政サービス(ごみの出し方など)をホームページなどでわかりやすく解説しています。(英語及び中国語)
・併せて、同じ時期より継続して、市民課窓口でパンフレットを作成し、ホームページの閲覧できない外国人等へのサポートを実施しています。

【姉妹都市や友好都市などの異文化やその歴史を理解する市民等の人材育成】

・昭和53年からグレシャム市及び平成5年から土佐市との相互交流派遣事業を実施しています。(平成16年~24年まで、グレシャム市相互派遣:延べ37人、土佐市相互派遣:延べ226人)

施策成果指標の推移



目標を達成できる成果指標の分析

江別国際センターや江別市都市提携委員会、市の国際交流員の活動などを通じて、異文化交流を図るとともに、国際理解や語学力、コミュニケーション力を高める取組を行っています。また、市内の小・中学校においては、英語教育の充実のほか、姉妹都市や友好都市との相互交流などを通じ、多くの児童・生徒が異文化を肌で体験するなど、お互いの言葉や文化を理解できる人材の育成に努めているところであり、今後もこれらの取組を地道に行なっていく必要があります。

目標達成が難しい成果指標の分析

国際交流団体の登録者については、景気の低迷や韓流ブームの沈静化、国際情勢の変化などにより大きく影響されるため、現在は減少傾向にあります。今後は、関係団体への側面的なサポートなどにより、江別国際センターと協力しながら、市民に国際理解を深めてもらえるよう取り組んでいく必要があります。

達成状況 ⇒ A:既に達成、 B:達成確実、 C:達成可能、 D:達成困難、 E:達成不可能

基本事業06-03-01 人材・団体の育成

目的	国際感覚を持ち、外国人と良好なコミュニケーションが図れる人材や団体を育成します。								
対象	市民、市内通勤通学者								
成果指標	外国人とコミュニケーションが出来る人の割合(%)	後期基準値 平19	10.2	現状値 平23	10.3	後期目標 平25	↗	達成状況	C
	国際交流団体の登録者数(人)	317	296	370				D	

基本事業06-03-02 在住外国人への情報提供の充実

目的	言葉や生活習慣の違いによる支障やトラブル、不安を解消し、誰もが安心して暮らせる街にします。								
対象	外国人								
成果指標	外国語による情報媒体提供件数(件)	後期基準値 平19	17	現状値 平23	18	後期目標 平25	20	達成状況	B
	外国人相談によって問題が解決した割合(%)	100.0	100.0	100.0				B	

基本事業06-03-03 異文化交流の推進

目的	様々な国や人、地域と触れ合い、相互の文化や歴史を理解する人材を育成します。						
対象	市民、市内通勤通学者						
成果指標	友好都市との交流者数(人)	1,752	1,822	1,800			B
	世界市民の集いなど交流イベントの参加者数(人)	813	813	880			B
	社会人向け外国語講座の参加者数(人)	225	257	270			C